

がれき処理コンソーシアム・技術情報集（保有技術）

整理 No.	68	分類	残渣（ふるい下）
会社名	原田産業株式会社		
担当者	原田産業株式会社 営業本部 吉川正弘、植原浩和		
連絡先	TEL	048-786-5555	FAX 048-786-5554
	E-mail	eigy@haradasangyo.co.jp	
技術の名称	ふるい下残渣選別技術		
概要 (150字程度)	<p>特殊な網を有する乾式比重選別機を主とした「ふるい下残渣選別ライン」で選別対象物の比重差により重量物、軽量物及び高比重の砂に仕分けする。対象物の組成により、選別パラメータを変更できる他、網の仕様を変更することも可能。水分含有率が許容範囲を超えている場合は、前処理調整を検討。</p>		
技術登録等			
技術の概要	<p>【技術の目的・用途】 通常時、産業廃棄物の中間処理工場「破碎物」「ふるい下残渣」より可燃物の選別に利用実績多数。震災等の不燃性ガレキの処理では可燃物選別および細粒砂の分別処理に用いられる。 具体的には、ヤード選別、粗ふるい選別などで、手選別対象原料と風力選別機・磁力選別機等の機械選別の対象となる原料に仕訳した後に発生する50mm以下程度のふるい下残渣処理に適用する。この残渣は旧来より最終処分の対象となっていたが、当該技術で選別する事で不燃物側の再利用または安定型処分が可能となり、建設系廃材のリサイクル率および中間処理効率が高まることが報告されている。 また、粒度ごとに選別装置を調整することで従来の機械処理や人手による選別が適わない細粒物の高精度かつ高能力選別処理に用途が見出される。</p>		
次頁あり	<p>【技術の特長】 乾式選別に特化して電力以外の経費（上水・下水処理など）を発生させない。投入物の粒度・水分の調整を行った後、比重差選別機に投入する。当該比重差選別機は選別用のデッキを中心として、原料投入方法、デッキ振動、デッキへの送風、適正な集塵処理等のパラメーターを持ち目的による調整が可能。選別対象物は大きさ及び形状が異なるため、数値により表現する事は困難だが、最大 2.0G 程度の加速度を与え、調整可能な空筒風速の風により、各々異なったベクトルを発生して微細な選別が可能となる。加えて現場経験による改善を進めることで一般のエアータブル式比重選別とはその精度において大きく異なっている。</p>		
	<p>【実績】 廃棄物処理設備への導入実績で 270 台（2013 年 3 月末）</p>		

北海道から九州の中間処理工場、木材再処理工場、各種分野工場で利用されているが、海外への出荷はソフト提供を含め今後の課題と捉えている。

【その他特記事項】

1. 他の用途

焼却残渣内未燃物除去（炭化物選別実績有）

廃プラスチック、ペットボトル、建設廃棄物

家電製品、電子製品、携帯電話、自動車、廃タイヤ等

2. 提供役務

プラント設計・建設、機械・機器販売、技術提供・供与、コンサルティング

3. 本技術に関するサービス可能な地域及び国(海外)

国内全域

アジア全域（輸出制限のない国に限る）、中東地域、カナダ、オーストラリア、北米地域

技術の概要
(つづき)

【カタログ請求は下記へご連絡ください】

原田産業株式会社 営業本部

Tel 048-786-5555 Fax 048-786-5554

E-mail eigyo@haradasangyo.co.jp

【導入事例】

数か所で導入されていますが、代表的な事例は次の通りです。

2012年度被災地で現在稼働中(例)

処理対象 「残渣(ふるい下)」

処理量 15 m³/時間～16 m³/時間(並列2ライン)

選別後のマテリアルは次の通り。

砕石(重量物)、焼却処理物(軽量物、集塵物)

再利用検討中(網下細粒物)

各々のマテリアル写真

原料(ふるい下)

重量物

網下細粒物

軽量物



詳細な内容については、個別にご請求ください。また、環境省の海外向けHPをご高覧くだされば、幸いです。

http://www.env.go.jp/recycle/circul/venous_industry/index.html